

令和4年度社会福祉法人小牧市社会福祉協議会事業報告

基本理念

あなたが主役 助け合いの輪でつながるまち こまき

主要事業

- I 第3次小牧市地域福祉活動計画の推進
- II 思いやりと支え合いの仕組みづくり
- III ボランティア活動の振興
- IV 在宅福祉サービス機能の充実拡大
- V 法人の健全運営と組織の充実整備その他

I 第3次小牧市地域福祉活動計画の推進

地域の新たなつながり、支え合いの仕組みをつくり、誰もが安心して暮らせる地域づくりを推進します。

担当課:地域福祉課

1 福祉教育を通じた人材育成

サービス区分:福祉教育活動推進事業

(1) 小・中学生福祉実践教室及びその他の福祉教室の開催 (60,227円)

①福祉実践教室

- ・開催学校数 9校 (前年度11校) ・参加生徒 延べ769人 (前年度 延べ1,089人)
- ・協力ボランティア:延べ161人

②総合的な学習の時間【中止】

(2) 中学生及び高校生福祉体験学習事業の実施と体験文集の作成 (608,524円)

社会福祉施設等でボランティア活動の体験学習を実施

- ・事前説明会:6月18日 ・参加者:34名
- ・体験施設:8施設 ・文集作成、配布:125部

(3) ジュニア奉仕団卒団生による「ココボラ」活動の継続

- ・ジュニア奉仕団卒団後も継続して活動できる機会を設ける等土壌づくりを図る
- ・会員:高校生 38人、大学生・一般 20人
- ・活動回数:7件、延べ55人

2 支援を必要とする人を支えるネットワークの構築

担当課:地域福祉課

サービス区分:福祉のまちづくり事業

(1) 地域支え合い推進員活動（市受託事業35,254,698円）

- ・第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画6年目。
- ・今年度より第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画策定準備に着手。
- ・地域包括支援センター5圏域に対してそれぞれの圏域担当として5名の地域支え合い推進員を配置し、各地域包括支援センターとの連携を強化。
- ・コロナ禍も少しずつ終息の兆しが見えてきた今年度は、地域の福祉的活動も少しずつ再開され、地域の動きに合わせた各担当者の地域支援活動も活発化してきた。

《地域支え合い推進員の活動件数》

活 動 内 容	R4延べ件数	前年度
地域住民との意見交換（座談会含む）	447	354
サロン関係（巡回相談）	243	139
サロン関係（立ち上げ支援、連絡調整など）	897	802
支援の担い手養成関係	47	36
災害時避難行動要支援者台帳関係	80	237
介護予防関係	235	230
社会資源の把握等	11	5
移動支援・移動販売関係	259	238
地域とのネットワーク	87	41
関係者間のネットワーク構築	668	438
地域包括支援センター等との連携	293	317
サービス事業者等との連携	140	151
その他	118	132
合 計	3,525	3,120

(2) 必要なサービス活動

担当課:地域福祉課
サービス区分:福祉のまちづくり事業

①ふれあい・いきいきサロン事業関係

○ふれあい・いきいきサロン連絡会の開催

- ・日 程：4月19日（火）、25日（月）、27日（水）、28日（木）
- ・参加人数：参加：67ヶ所 合計 68人
- ・場 所：東部市民センター、味岡市民センター、ふれあいセンター
- ・対 象 者：ふれあい・いきいきサロン代表者
- ・内 容：「今、みなさんのサロンではどんな活動をしていますか？」

事前のアンケートをもとに、地域包括支援センター、保健センター等関係機関との座談会形式で、コロナ禍においてそれぞれのサロンにおける活動内容の情報と意見交換を行った。

○ふれあい・いきいきサロン勉強会の開催

- 開 催 日：7月5日（火）、8日（金）、11日（月）
- 内 容：「サロンで！日常生活の隙間に！簡単にできる体操をご紹介します！」
- 講 師：小牧市リハビリテーション連絡会 理学療法士
- 場 所：ふれあいセンター
- 参加者数：3日間合計 83名

○ワクティブこまきとの連携

9月17日(土)

「こまき市民活動祭」へサロンの活動を紹介するブースを出展。3か所のサロン(いきいきサロン三ツ山、たまり場じいばあ、久保ふれあい・いきいきサロンおきがるクラブ)が参加。

12月8日(木)

「こまき支え合いいきいきポイント説明会」において、ふれあい・いきいきサロンの活動事例を紹介。

○ふれあい・いきいきサロン活動への支援

善意銀行寄付品であるお菓子やお茶を配付。またコロナ禍の支援として手指消毒用アルコールジェルを配付。

○ふれあい・いきいきサロン数 ※別表1参照

	R4年度	前年度
サロン数(3月末)	80	81

○ふれあい・いきいきサロンの新規立ち上げ：なし

・地域の居場所巡回 サロン訪問数 243回

②こども食堂立ち上げ・開催支援

市内こども食堂：4ヶ所（こどもっと食堂・もぐもぐこども食堂・ますみキッチン・akaaka）

（３）介護予防関係

①圏域の介護予防拠点（こまき山体操教室）への支援

- ・南部地区こまき山体操教室、西部地区こまき山体操教室、篠岡地区こまき山体操教室への継続支援。
- ・新規創設を目指す味岡地区、北里地区、中部地区の立ち上げ準備。

②こまき介護予防推進リーダー養成研修の開催

- ・開催日：11月22日（火）、25日（金）、28日（月） 全3日課程
- ・内容：「加齢による体の特徴と健康」、「口腔機能向上・低栄養について」「地域で介護予防に取り組むには」、「地域包括支援センターとの交流」
- ・講師：小牧市リハビリテーション連絡会、保健センター歯科衛生士、小牧市保健師
- ・参加人数：32名
- ・場所：ふれあいセンター 大会議室

（４）防災関係

① 地区防災訓練（災害時声かけ訓練）：3ヶ所（安田区、小木上区、梵天藤栄区）

②「安心カプセル事業」新規安心カプセルの配布：6ヶ所（朝日区、城山第四区、多気上区、片町区、桃ヶ丘第二区、東田中区）

（５）関係者間のネットワークの構築

①ふくし座談会の開催

単 位	件	延べ人数
小学校区単位	3	8
区等单位	18	43
合 計	21	51

② 各小学校区地域協議会への参加。

参加した地域協議会：小牧原小学校区地域協議会、三ツ渚学区コミュニティ推進協議会、本庄小学校区地域協議会、味岡小学校区地域協議会、桃ヶ丘小学校区地域協議会、大城小学校区地域協議会、篠岡小学校区地域協議会、陶小学校区地域協議会、光ヶ丘小学校区地域協議会、北里小学校区地域協議会、小木小学校区地域協議会

(6) サービス・支援の担い手の養成

地域活動で生きがいづくり～地域の担い手養成講座～

「こまき山体操」実践指導者フォローアップ研修の開催

- ・開催日：3月13日（月）1部～10：00～12：00、2部13：30～15：30
- ・対象者：こまき山体操に関するなんらかの取り組みを行っている、または今後取り組む予定のある小牧介護予防推進リーダー、ボランティア。
- ・講師：小牧市リハビリテーション連絡会理学療法士大橋氏、伊岐見氏
- ・参加人数：1部22名、2部24名 計46名
- ・場所：小牧市役所東庁舎5階 大会議室

(7) その他

- ・買い物困難地域と移動販売車のマッチング支援（17地区）
- ・各小学校区における住民共助による助け合い（おたすけ隊）への活動および立ち上げ支援。

Ⅱ 思いやりと支え合いの仕組みづくり

担当課：地域福祉課

サービス区分：一般募金配分金

1 人にやさしいまちづくり

(1) 高齢者・障がい者等の社会参加促進及び啓発活動

ふれあいセンター2階にて、市内障がい者・高齢者の手づくり作品の常設展示

展 示 内 容	R4年度	前年度
個 人	3	2
施設（ふれあいデｲｰﾋﾞｽ、岩崎デｲｰﾋﾞｽ、サﾌﾟﾛｰﾄﾞ他）	5	5
市内事業所	1	2
ふれあい・いきいきサロン作品・白寿会写真部	3	3

(2) 三世代交流会の促進と支援 (380,000円)

同じ地域に住む住民同士が交流会を通じて、ふれあいとつながりを深めることを目的として開催。

- ・開催地区数 19地区 (前年度 12地区) 補助金：上限20,000円(1ヶ所)

※別表2参照

(3) 福祉映画のつどい開催

- ・市内18会場にて開催 (前年度10会場)
- ・参観者 ふれあい・いきいきサロン・子ども会・3あい事業等

(4) 児童・青少年健全育成の促進

①ちびっこ遊園地の整備 (356,180円)

担当課:地域福祉課

サービス区分:福祉教育活動推進事業

- ・設置ヶ所 16ヶ所 (前年度 16ヶ所) ・修理等の状況 10ヶ所 (前年度 9ヶ所)

(5) ふれあいセンターの利用促進

①ふれあいセンターの管理運営

(市受託事業 61,579,776円)

担当課:総務課

サービス区分:会館等運営事業

〈センターの部屋別利用状況〉

年度	項 目	会議室2 〈2F〉	会議室3 〈2F〉	視聴覚室 〈2F〉	料理実習 室 〈2F〉	和室 〈2F〉	会議室4 〈3F〉	大会議室 〈3F〉	合 計
R 4	件数(件)	648	366	397	9	128	286	465	2,299
	人員(人)	832	3,206	4,078	60	727	1,684	10,316	20,903
R 3	件数(件)	1,095	421	416	54	114	305	382	2,787
	人員(人)	649	3,196	3,726	90	584	1,393	6,890	16,528

② 「福祉映画を鑑賞する会」の開催 (528,000円)

- ・毎月1回 (第2日曜日)
- ・参観者 延べ303人/年間12回 (前年度331人/年間10回)

担当課:地域福祉課

サービス区分:一般募金配分金事業

③ボランティアルームの常時開設、ボランティア団体等への無料貸出

- ・ボランティアが活動するための自由に使用できる部屋として開放。
- ・各ボランティアグループ専用のロッカーも設置。

(6) 「ふれあい会食会」の開催支援【一部実施】

(37,500円)

担当課:地域福祉課

サービス区分:福祉のまちづくり事業

※中部地区ボランティア連絡会が「交流会」として実施。

(7) 「ひとり暮らし高齢者交流会」の開催

(市受託事業1,624,314円)

担当課:地域福祉課

サービス区分:ひとり暮らし高齢者交流会事業

2日の日程にてそれぞれ午前午後の2部に分けて全4公演開催した。演芸メニュー「歌謡ショー」を中心に、お楽しみじゃんけん大会、クイズ大会を実施。また市内中学校ジュニア奉仕団の子どもたちにより作成されたメッセージカードを参加された高齢者へお渡しした。

開催日時	令和4年11月24日(木)		令和4年11月25日(金)	
	午前の部	午後の部	午前の部	午後の部
	中部・西部 地区	南部・北里 地区	味岡地区	篠岡地区
会 場	小牧勤労センター			
参加高齢者	74名	64名	100名	59名
	総計297名			

(8) 第44回小牧市障がい者(児)スポーツ・レクリエーションのつどい開催

(市受託事業:903,000円)

担当課:地域福祉課

サービス区分:心身障害者福祉推進事業

- ・開催日・場所:11月13日(日) パークアリーナ小牧
- ・参加者:143名 ・ボランティア数:57名

(9) 「社協だより」の発行(4,176,000円)

年4回発行・全戸配布 各56,000部

担当課:地域福祉課

サービス区分:一般募金配分金事業

(10) インターネット・ホームページ・ブログの活用で福祉情報を配信

(11) 「ふくしの出前講座」の開催

	R4年度	前年度
開催回数 (回)	15	1
延べ参加者数 (人)	528	280

- ・ 目 的 福祉に対する理解を深めていただくため、社協職員が地域に出向き福祉に関する様々な情報や知識をお知らせする。
- ・ 内 容 「福祉に関する講話」など

Ⅲ ボランティア活動の振興

1 ボランティアの心を育み実践につなげる活動

担当課:地域福祉課

サービス区分:ボランティアセンター活動事業

(1) ボランティア養成講座の開講 ※人数制限をして開催 (440,406円)

講 座 名	受講者数 (人)
手話ボランティア養成講座 (昼の部)	10
手話ボランティア養成講座 (夜の部)	12
音訳 (朗読) ボランティア養成講座	6
点訳ボランティア養成講座	2
災害ボランティアコーディネーター養成講座	15
障がい者ガイドボランティア養成講座	3
合 計 6講座	48

(前年度 3講座 17人受講)

(2) ボランティア活動に関する相談 (窓口・電話・メール・その他) 1,200件

(3) ボランティアに関する情報提供・各種機材の貸出等

(4) ボランティアのコーディネート(調整) ボランティア派遣依頼数 10件

(5) ボランティア情報コーナーの設置

ボランティアに関する書籍やDVD、各種チラシ、ポスター、グループ情報ファイル、福島県の新聞2紙（週2回更新）、コルクボードでのボランティア情報を設置し、情報を発信

(6) ボランティア活動啓発パネルの常時展示・貸出及び一覧表の作成・配布

登録グループを紹介するため活動紹介パネルを作成・貸出、持運び用縮小版も作成。

- ・活動紹介パネル貸出 1件
- ・一覧表配布 1,200部

(7) ボランティア表彰

- ・愛知県功労者表彰 一寸奉仕こまき
- ・愛知県社会福祉協議会会長表彰 久保山団地お助けマン
- ・愛知県社会福祉協議会会長感謝状 三ツ山子どもすもう
- ・小牧市社会福祉大会 社協会長表彰9名、社協会長感謝状3名

(8) ボランティア分野別登録状況

区 分	団体数	人数	区 分	団体数	人数
高齢者を支える	7	142	芸能レクリエーション	23	342
障がい者を支える	13	290	文化・教育・子ども(ジュニア含)	36	1,486
保健・健康づくり	5	83	環境・まちづくり	12	609
防犯・防災	6	190	個人ボランティア(施設含む)	—	32
合 計				102団体	3,174人

(前年度 108団体 3,425人)

2 地域のボランティア活動の強化・育成・ネットワークづくり

担当課:地域福祉課

サービス区分:ボランティアセンター活動事業

(1) ボランティアセンター運営委員会の開催 (96,756円)

- ・開催場所 ふれあいセンター
- ・開催日:4月13日(水)・9月7日(水)・R5年3月1日(水) 3回開催

- ・ 目 的 ボランティアセンターの事業推進、機能充実、体制整備、活動の円滑化を図るための業務についての協議を行う。

(2) ボランティア連絡会(代表者会)の開催 (36,896円)

- 1回目 4月20日(水) 出席者：前半36名、後半31名
- 2回目 令和5年2月15日(水) 出席者：前半37名、後半33名
※感染対策のため、午前・午後に分けて開催。

- ・ 目 的：会員相互の連絡と交流を図る。

(3) 「地区ボランティア連絡会」(市内6地区)の組織強化と助成

- ・地区ボランティア活動の推進を目指し、地区ごとにボランティア同士交流を深め、地域の福祉に目を向けた取組みを推進した。

[人数] 地区ボランティア連絡員223人

[内容] 総会、実行委員会、地区ボランティアのつどい、視察研修会他(地区毎)

- ・ 6地区合同役員会 5月18日(水)・R5年2月28日(火)
- ・ 地区ボランティア連絡会活動助成金の交付 6地区 506,000円

(4) シルバー・婦人・ジュニア奉仕団の充実と活動支援 (599,592円)

①婦人奉仕団：市内2団体 役員会は中止

②ジュニア奉仕団：市内9中学校合計 113件

- ・ 内 容：街頭募金活動、清掃活動、愛のレター書き、児童館活動、各種行事の手伝いなど

(5) ボランティア勉強会の4回開催 ※人数制限を設けて開催 (130,667円)

【目 的】より多くのボランティアに「ボランティア活動の意義や必要性」についての理解を深めていただくとともに、活動が続けることのモチベーションを高め、「ボランティア活動の活性化」を目的として開催する。

【参加対象】登録ボランティア

- ・ 5月26日(木) 講演「みんなの家-短期宿泊センター-」 44名
講師：徳林寺 住職 高岡 秀暢 氏
- ・ 8月25日(木) LINE勉強会 15名
講師：シオン倶楽部 小塚 由樹 氏
- ・ 11月29日(火) LINE勉強会 10名
講師：シオン倶楽部 小塚 由樹 氏

- ・ R5 年 2 月 21 日（火） 講演「もっと歩こう！お遍路のすすめ」 80 名
講師：東海テレビアナウンサー 高井 一 氏

担当課:地域福祉課

(6) ボランティアグループへの活動支援、助成金交付

サービス区分:一般募金配分金事業

ボランティア活動をより促進し、活発化させ、活動の幅を広げることを目的

54グループ 申請 計1,449,999円（前年度 54グループ 計1,449,000円）

担当課:地域福祉課

(7) ボランティア活動保険の加入促進（474,198円）

サービス区分:ボランティアセンター活動事業

ボランティア活動保険加入者数 1,527人（前年度 6,413人）

(8) 災害ボランティア支援センター立ち上げ訓練 （18,837円）

- ・ 開催日：R5年1月29日（日）

- ・ 場 所：小牧山史跡公園

- ・ 参加者数：76名

担当課:地域福祉課

サービス区分：一般募金配分金事業

(9) 「福祉の心」「ボランティアの心」の普及・啓蒙活動

① 第43回「福祉展」の開催（267,378円）

担当課:地域福祉課

- ・ 開催日：10月15日（土）・16日（日）

サービス区分：一般募金配分金事業

- ・ 場 所：市公民館

② ホームページ・ブログを利用したボランティア活動の情報配信

4 相談事業の実施 (1,005,094円)

担当課:総務課

サービス区分:地域福祉推進事業

(1) 相談所の開設

※件数は再来を含む

相談内容	R4件数	前年度件数	開催内容
内職相談	144	107	毎週木曜日 10:00～15:00
心配ごと相談	240	195	毎週水・金曜日 9:00～15:00
法律相談	20	0	毎月第3金曜日13:00～16:00
計	404	302	

(2) 相談業務充実のための相談員合同研修会 ・実施せず

5 日常生活自立支援事業 (県社協受託事業 2,658,000円)

担当課:相談支援課

サービス区分:日常生活自立支援事業

- ・利用対象 認知症高齢者・知的障がい者及び精神障がい者等判断能力が不十分な方
- ・事業内容 福祉サービスの利用援助、日常的な金銭サービス、書類等の預かりサービス
- ・相談件数 1,151件 (前年度 1,099件)
- ・利用者実数 (令和5年3月31日時点)

障がい区分	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	合計	前年度
実人数	9	22	14	45	47
生活保護(再掲)	4	5	4	13	16

6 あんしん預かりサービス事業

担当課:相談支援課

(令和3年7月1日～小牧市社協独自事業)

サービス区分:日常生活自立支援事業

- ・利用対象 認知症や障がいによって判断能力が低下した方、日常生活自立支援事業や成年後見制度の利用予定の方
- ・事業内容 生活や金銭管理に関する相談・助言、書類及び金銭の預かり、本人が行う預貯金の払い出し、預け入れ、解約などの手続きへの支援
- ・相談件数 327件 (前年度 120件)
- ・利用者実数 (令和5年3月31日時点)

障がい区分	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	不明・その他	合計	前年度
実人数	4	1	1	0	6	3
生活保護(再掲)	1	0	0	0	1	1

11 おもちゃ図書館の運営 (30,057円)

担当課:ふれあいの家

サービス区分:一般募金配分金事業

・年間利用状況

開催日数 237日(使用回数79回、貸出個数118個)

利用延人数 722人:一日平均3.0人(前年度 一日平均2.7人)

・利用登録人数等

	R4年度	前年度
登録人数	724人	670人
おもちゃの保管数	512個	490個
絵本の冊数	561冊	561冊

・主な活動

遊び企画	障がいのある子どもたちの遊びや楽しい体験の場 『あそぼうDay』を2日間開催
貸し出し	障がいのある子どもへのおもちゃ及び本の貸し出し
事業参加	ふれあいまつり・福祉展に参加

館内清掃のため8月15日と12月29日は閉館。

くみひも講座は講師の体調不良のため7月中止。

その他、5月10日～5月11日と10月4日～10月6日は閉館。

12 在宅福祉サービスの充実

担当課:地域福祉課

サービス区分:在宅福祉推進事業

(1) 寝たきり高齢者対象紙おむつ給付事業 (408,064円)

在宅でねたきりの高齢者等を介護している者の負担を軽減し、快適な日常生活に資するため、「紙おむつ」の給付を行う。

- ・実施回数 3回/年
- ・対象者 小牧市の「ねたきり高齢者等介護者手当」受給者で、おむつの給付を希望する人
- ・対象延べ人数 281人(前年度 283人)

(2) 高齢者世話付住宅(シルバーハウジング)への生活援助員派遣事業

(市受託事業 8,641,859円)

担当課:在宅福祉課

サービス区分:北外山・岩崎高齢者世話付住宅
生活援助員派遣事業

R5.3現在

名 称	R4世帯数	前度世帯数	所 在 地
県営岩崎住宅シルバーハウジング	30	26	岩崎原新田880-17
県営北外山住宅シルバーハウジング	24	24	北外山2735-2

・生活援助員数 2人

・内 容 訪問又は電話での安否確認、相談・緊急対応など

周辺住民と入居者の交流会「いっぷく堂」を開催(月2回実施)

担当課:在宅福祉課

サービス区分:居宅介護支援事業

(3) ケアマネジャーのお仕事説明会の開催

・内 容 これからケアマネジャーをめざす方々へ仕事の内容や魅力をわかりやすく伝える説明会。

・開催日・場所 令和4年7月31日(日) ふれあいセンター

・参加者 2名

13 車いすセンターの運営 (1,091,183円)

担当課:総務課

サービス区分:車いすセンター運営事業

(1) 車いす・電動ベッド等福祉機器の貸出

貸 出 機 器	保有台数 (台)	年間利用件数(件)		R5.3.31現在の 貸出件数(台)
		新 規	更新(継続)	
車 い す	169	177	97	149
介護用ベッド	80	5	52	77
床ずれ防止マット	12	0	1	3
合 計	261	182	150	229
前 年 度	262	184	149	234

(2) 車いす対応（リフト・スロープ付）自動車貸出事業

利用目的	ハイエース (ともしび号)		軽バン (エブリィ)	
	個人	団体	個人	団体
通院	5	0	21	0
入院・転院・退院	4	0	0	0
施設への入退所	0	0	6	0
行事参加	1	8	0	3
余暇活動	10	0	47	0
その他	3	45	2	118
合計	23	53	76	121
前年度	24	47	92	102

14 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業 18,120,366円）

担当課:相談支援課

サービス区分:生活福祉資金貸付事業

- ・貸付内容 他からの資金借入れが困難な低所得者世帯や障がい者・高齢者世帯等に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、世帯の自立支援を図ることを目的とする。

・相談件数 88件（前年度 51件） ・貸付件数 0件（前年度 3件）

・資金別貸付状況

資 金 名	令和4年度		前 年 度	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
生活支援費	0	0	0	0
住宅入居費	0	0	0	0
一時生活再建費	0	0	0	0
福 祉 費	0	0	0	0
緊急小口資金	0	0	0	0
教育支援費	0	0	3	7,685,000
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0
不動産担保型生活資金	0	0	0	0
合 計	0	0	3	7,685,000

——— 新型コロナウイルスの影響による特例貸付事業 ———

(1) 緊急小口資金特例貸付 (令和4年9月30日終了)

- ・貸付内容 コロナの影響を受け、収入減少や失業等により、一時的に生計維持が困難となった世帯に対し貸付を行う

- ・貸付限度額 一世帯 最大20万円

	令和4年度	前年度
貸付申請件数	201件	669件
貸付決定件数	174件	595件
貸付金額	29,280,000円	113,030,000円

(2) 総合支援資金特例貸付 (令和4年9月30日終了)

- ・貸付内容 コロナの影響を受け、収入減少や失業等により、生活に困窮し、日常生活の維持が困難となった世帯に対し貸付を行う
(緊急小口資金特例貸付を利用した世帯)

- ・貸付限度額 一世帯 最大9ヶ月間で180万円

	令和4年度	前年度
貸付申請件数	154件	1,036件
貸付決定件数	130件 (延長・再貸付を含む)	1,025件 (延長・再貸付を含む)
貸付金額	72,000,000円	566,396,000円